

香港公民代表會議

Assembly of Citizens' Representatives, Hong Kong

大會動議

Motion of the Assembly

二〇二五年十二月七日施行の傀儡「立法会」選挙の不承認に関する動議

Disavowal of the Puppet "Legislative Council" Election

Held on 7 December 2025

香港開港一八五年十二月八日（西暦二〇二五年十二月八日）

前 文

本會議は、二〇一九年十一月二十四日に施行された香港区議会選挙において選出された民選議員により構成されるものであり、同選挙は香港史上最高の投票率（71.23%）を記録し、約三百万の選挙人の授権を得て、香港公民の真正なる民意を代表するものであることに鑑み、

二〇一六年香港立法会選挙が主権移転以来最高の投票率（58.28%）を記録し、計 2,202,283 名の選挙人が投票し、香港人の民主と自由に対する確固たる追求を十全に体現したことに鑑み、

香港人民は『市民的及び政治的権利に関する国際規約』第一条に基づき自決権を有し、その政治的地位を自由に決定し、その経済的、社会的及び文化的発展を自由に追求する権利を有することに鑑み、

一九八四年の『中英共同声明』は中国と英国との間における香港の将来に関する交渉であり、香港人民への諮問は一切行われず、況んや授権を得ることもなく、一九九七年の主権移転もまた香港人民による住民投票その他の民主的手続を経て同意を得たものではないこと、加えて中国が一九七二年に国際連合をして香港を非自治地域名簿から除外せしめ、香港人民が国連の脱植民地化手続に基づき自決権行使する機会を剥奪したこと、これらの行為自体が香港人民の自決権に対する根本的侵害を構成することに鑑み、

中国共産党政権が二〇一七年六月三十日、その外交部報道官を通じて『中英共同声明』は「歴史的文書として、いかなる現実的意義も有さず、中央政府の香港特別行政区に対する管理においていかなる拘束力も有しない」と公言し、その国際条約上の義務を一方的に破棄したのみならず、同政権が香港人民に対する約束を誠実

に履行する意思を当初より有していなかったことを確証せしめ、香港の憲制的基盤を完全に崩壊させ、香港人民を違法な占領状態に置いたこと、並びに国際司法裁判所がチャゴス諸島に関する勧告的意見（二〇一九年）において、国連非自治地域名簿からの除外は当該人民の自決権を消滅させるものではないと確認したことに鑑み、

中国共産党政権が二〇二一年三月に香港の選挙制度を強制的に改変し、候補者の「愛国」姿勢を審査する「資格審査委員会」を設置し、直接選挙議席を三十五議席から二十議席に削減し、北京の支配下にある選挙委員会に四十名の議員選出権を付与し、香港人の選挙権及び被選挙権を根本的に剥奪したことに鑑み、

二〇二〇年に予定されていた立法会選挙が疫病を口実として中止され、その後全国人民代表大会常務委員会が一方的に第六期立法会の任期延長を決定し、香港人民の民主的授権を迂回したこと、延長期間中に民主派議員が資格を剥奪されるか抗議の辞任を行い、同立法会からあらゆる民意代表性が失われたこと、また二〇二一年十二月十九日に施行されたいわゆる「立法会」選挙は「愛国者による香港統治」体制下における初の選挙であり、投票率は僅か 30.2% と香港立法機関選挙史上最低を記録し、同制度が人民により拒絶されたことを明確に証明したことに鑑み、

登録選挙人数が二〇二一年の 447 万人から二〇二五年の 413 万人へと 33 万人減少し、傀儡政権による大規模な選挙人資格剥奪及び暴政を逃れて海外に亡命を余儀なくされた香港人の存在を証明していること、並びに二〇二五年傀儡「立法会」選挙の総投票者数（1,317,682 人）が二〇二一年（1,350,680 人）より更に 32,998 人減少し、傀儡政権が喧伝する投票率の「上昇」は選挙人基盤の縮小による統計上の虚構に過ぎないことに鑑み、

香港の民主主義時代と比較して、二〇一六年立法会選挙の投票者数は 2,202,283 人（投票率 58.28%）、二〇一九年区議会選挙の投票者数は 2,943,842 人（投票率 71.23%）であったのに対し、「愛国者による香港統治」体制下の傀儡選挙における投票者数は民主主義時代の半数に過ぎず、同制度がいかなる公的授権をも欠くことを決定的に証明していることに鑑み、

民主派候補者が選挙から完全に排除され、現在いわゆる「立法会」の九十議席全てが親北京派建制派により掌握され、ゴム印と化していかなる抑制均衡機能をも喪失していることに鑑み、

本會議は、香港における民意授権を有する最後の民選代表機構として、海外の香港公民及び香港において沈黙を強いられている香港公民のために発言し、香港人の基本的権利及び自由を擁護し、国際社会に対し香港の真正なる民意を表明する責務を負うことにより鑑み、

香港選挙データ比較

選挙	登録選挙人	投票者数	投票率	備考
2016 年立法会	3,779,085	2,202,283	58.28%	民主時代最高
2019 年区議会	4,132,977	2,943,842	71.23%	本會議授権の源泉
2020 年立法会	—	—	—	中止・民主派 DQ
2021 年「立法会」	4,472,863	1,350,680	30.2%	「愛國者」初回
2025 年「立法会」	4,138,992	1,317,682	~31.9% †	選挙人 33 万減
変化*	-333,871 (-7.5%)	-32,998 (-2.44%)	+1.7% †	基盤縮小による虚構

*2021 年数値を基準として算出 †傀儡政権公表値；本會議はその信憑性を認めず

出典：elections.gov.hk/legco2016, dc2019, legco2021, legco2025

議 決

本會議は以下の通り議決する

一、本會議は、二〇二五年十二月七日に施行されたいわゆる「立法会」選挙を合法的、公正又は代表性を有する選挙として承認せず、同選挙及びその結果を無効と宣言する。

二、本會議は、二〇二〇年より延長された第六期立法会、二〇二一年十二月十九日に選出されたいわゆる「立法会」、及び二〇二五年十二月七日に選出されたいわゆる「立法会」はいずれも非合法な機関であり、いかなる公的授権をも有さず、これらが可決したいかなる法律又は決議も香港人民に対して拘束力を有しないことを宣言する。

三、本會議は、香港人民が国際法に基づき生来的かつ不可譲の自決権を有し、その政治的地位及び政治制度を自由に決定する権利を有することを再確認する。一九八四年の『中英共同声明』は香港人民により授権されたものではなく、一九九七年の主権移転は香港人民の同意を得たものではなく、かつ中国共産党政権は二〇一七年に同声明を拘束力なき「歴史的文書」であると一方的に宣言したことに鑑み、香港人民の自決権は未だ正当に行使されておらず、完全に保持されており、香港の政治的将来は香港人民自身が住民投票を含む真に民主的な手続を通じて決定しなければならない。

四、本會議は、国際社会に対し、傀儡「立法会」及びその選挙結果を承認せず、かかる非合法な機関とのいかなる形態の公式な交流も控えるよう呼びかける。

五、本會議は、世界各国政府に対し、香港における民主主義の弾圧及び人権侵害に関与した官員及び団体に対し、資産凍結及び渡航禁止を含む標的制裁を科すよう呼びかける。

———— 議決終 ————